

会 議 録

会議の名称	平成26年度 行田市観光委員会
開催日時	平成26年 8月19日(火) 開会； 15時00分・閉会； 16時30分
開催場所	行田市役所306会議室
出席者(委員)氏名	斉藤哲夫委員長、高橋弘行委員、吉田哲委員、 小池利昌委員、岡田時子委員
欠席者(委員)氏名	野口啓造委員、横田康介委員
事務局	環境経済部長 小林乙三 商工観光課長 吉田悦生、 商工観光課主幹 村田清治 商工観光課主査 西村尚紀、 商工観光課主事 鈴木健太
会議内容	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 ・平成26年度 行田市の観光施策について ・今後の観光施策について ・観光案内所について ・その他 4 閉 会
会議資料	(資料名・概要等) 平成26年度 行田市観光委員会次第ほか
その他必要事項	傍聴人 1名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局 委員長 事務局	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 平成26年度 行田市の観光施策について</p> <p>① 実施済みの事業について</p> <p>水城公園桜ボンボリまつり、行田春まつり、さきたま火祭り、浮き城のまち行田サイクルサポーターズ事業、古代蓮開花期におけるシャトルバスの運行、行田蓮まつり、行田市民祭 浮き城まつり、とうろう流し納涼大会（悪天候のため中止）、観光パンフレットと連携した AR 技術を使った動画の配信を実施した。</p> <p>② 実施予定の事業について</p> <p>るるぶ行田の発行、行田市菊花展、商工際・忍城時代まつり、駅からハイキング、ぎょうだ“夢”まつり、行田酉の市、わらアート、行田ゆく年くる年を実施予定。菊花展は今年度、集客を目的とし11月9日まで実施する（商工祭と重ねる）予定。ぎょうだ“夢”まつりは今年度は市制施行65周年記念事業として行田市産業文化会館周辺で開催予定。わらアートについても市制施行65周年記念事業として今年度実施予定。</p> <p>③ 通年行っている観光施策について</p> <p>忍城おもてなし甲冑隊による忍城址でのおもてなしや市外でのPR活動、観光協会ホームページの運営管理、施設（行田市観光案内所・観光情報館ぶらっと♪ぎょうだ）の運営管理、観光レンタサイクル（普通自転車60台、電動アシスト自転車10台）の貸出及び管理を実施している。過去3年の観光客数については、</p> <p>平成23年は1, 110, 646人            平成24年は1, 548, 072人            平成25年は1, 582, 218人</p> <p>となっていて、平成24年は映画「のぼうの城」の公開による影響で観光客が増加していることが見受けられる。</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
委員	<p>平成26年度 行田市の観光施策について（質疑応答）</p> <p>質疑1 今年度実施済みの「シャトルバスの運行」について、バスを利用しようと並んでいた観光客が1回のバスに乗り切れず、残った人たちが次のバスを待たなければならないという事例が今年度見受けられたが、改善や対策はするのか。</p> <p>質疑2 通年行っている観光施策「施設の運営管理」について商工センターの2階にある無料休憩所が暑く、快適性に欠けるとの話を聞いたのだが、改善する予定はあるのか。</p> <p>質疑3 最後に説明のあった過去3年の観光客数はどのような根拠から数字を出しているのか。</p>
事務局	<p>質疑1への回答</p> <p>今年度蓮の花がテレビに取り上げて頂いた。その日が土日と重なり観光客が急増したことにより先の質問のような事例も発生した。このことについては来年度、時刻表の見直しなどを行って改善したいと考えている。</p> <p>質疑2への回答</p> <p>そのような話は、事務局のほうでは特に聞いていない。</p> <p>質疑3への回答</p> <p>施設、公園、祭事など各ジャンル別に出された来場者数を合算して年間の観光客数としている。</p> <p>（補足説明）</p>
事務局	<p>入込客数についての各ジャンル別に出された来場者数を合算する方法については県から送られてくる書式に記入して県に提出しているものであり、他の自治体も同じ方法で積算している。</p>
事務局	<p>今後の観光施策について</p> <p>忍川中心にポタリングロードの整備を進めている。先に述べた浮き城のまち行田サイクルサポーターズ事業も含め、行田を「ポタリングの町」にする予定。主な予定としては、行田市バスター</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	<p>ミナル周辺にポタリング拠点としての観光案内所の整備、ポタリングマップの作成、サイクリングロードへの表示の設置などの事業を来年度進めていく予定。</p>
委員	<p>今後の観光施策について（質疑応答）</p> <p>ポタリングマップの完成はいつ頃になるのか。</p>
事務局	<p>平成27年度に完成する予定。</p>
	<p>ポタリングの促進もそうだが、忍川、酒巻導水路、旧忍川を市民の皆様にもっと親しんで頂く目的もあり、ポタリング整備を行っている。主に整備済みのところは表示等、未整備のところは整備を県と市が中心となって行っていく。予定としては基本的な整備は県が、簡易的なものは市が主体となって行っていくことになっている。9月頃から工事が始まり、平成27年度を目安に工事が終わる計画なので、この頃にポタリングマップも完成させたいと考えている。</p>
事務局	<p>観光案内所について</p>
	<p>JR 行田駅前についてはバス停や案内所もあるので重要なエリアと考えており、駅周辺に対する意見も多いため、整備を行っていく予定。観光案内所にてアンケートを実施し、市報ぎょうだ9月号でも JR 行田駅周辺に関するワークショップがあるので参加して頂くよう案内をしている。なので、本日お越し頂いた委員の皆様にも参加してもらい意見を頂けるとありがたい。</p> <p>観光案内所では、主に観光案内、レンタサイクルの貸出管理、観光ガイド受付などを担当しており、古代蓮の開花期には朝7時から職員を雇って観光案内を行っている。また、資料などを見ても年々利用者が上昇している。</p>
委員	<p>観光案内所について（質疑応答）</p> <p>この事業は長期にわたるのではないか。</p>
事務局	<p>JR 行田駅周辺の整備については5年を目安としており、駅周辺の</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>整備に平行して観光案内所の整備も行っていきたいと考えている。</p> <p>質疑 1      今、外国人の観光客を呼び寄せることが話題になっているが言語のわかる職員はいるのか。また、外国語のパンフレットはあるのか。</p> <p>質疑 2      JR 行田駅周辺でバスなどを待つ観光客の方への食事処の案内はできるのか。</p> <p>質疑 1 への回答</p> <p>片言であれば対応しているという話は聞いている。以前面接を行ったが資格を持っている職員もいた。しかしそれでもスムーズに対応するのは難しいらしい。外国語のパンフレットについては一応あるが、もっと充実させていきたい。県の方でも外国人向けのプロジェクトがあり行田市も参加している。そのプロジェクトにおいて県が外国人観光客に対する Wi-Fi 環境を整備する政策を行っているが観光案内所とぶらっと♪ぎょうだには Wi-Fi の設備がある。</p> <p>質疑 2 への回答</p> <p>JR 行田駅周辺にある化粧品店の中に喫茶店が開店したが、行田市を訪れる観光客の方からは「フライやゼリーフライを食べられる店はないのか」との意見を頂いたこともある。駅の近くだと「ジャパン亭」にゼリーフライは売っているがもっと改善していきたい。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>平成 26 年度の JR 行田駅周辺と秩父鉄道行田市駅周辺の整備について、予算が 620 万円と聞いたが積算を教えて欲しい。</p> <p>JR 行田駅周辺と秩父鉄道行田市駅周辺の整備については都市計画課が主体となって行っている。こちらで把握しているのは JR 行田駅周辺の整備は主にコンサルタントへの委託料等が中心で、その一環としてアンケートなども実施している。秩父鉄道行田</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
委員 事務局	<p>市駅周辺の整備はワークショップの支援などが主である。ワークショップについてはものづくり大学が中心となっており、5回の開催を予定しているので詳細はこのワークショップを経てからでないとわからない。ただ、JR行田駅周辺の整備については民間業者への委託なのでこちらの方が高額であることが予想される。</p> <p>アンケートについてはいつ頃実施したのか。</p> <p>1ヶ月間ほど行っているが、今週ぐらいには終わる予定。</p>
委員 事務局	<p>JR行田駅周辺は行田市の南口の顔とも言えるので、皆様の意見を頂きもっと整備を行っていくつもりだが、予算にも限りがあるので出来る範囲でもっとよくしていきたい。</p> <p>秩父鉄道行田市駅周辺の足袋蔵を利用した整備事業をやっているが、蔵と蔵も離れているため足袋蔵だけ整備しても意味が無いのではないかと。忍城址、さきたま古墳、古代蓮など全体的に考えてやったほうが良いのではないかと。</p>
事務局	<p>そういった意見はよく聞いている。そういった皆様からの意見をまとめて判断していきたい。</p>
委員	<p>その他（感想）</p> <p>経済的な効果がなければ観光ではないと思う。今の現状だと「見せて終わり」なきがしてしまう。ポタリングでの観光よりも体験事業を導入した方がいいと思う。祭事などお客さんが集まる機会を利用し体験コーナーを作ったり、忍川周辺の整備についても船を浮かべるといった発想があってもいいのではないかと。</p>
委員	<p>125号沿いを利用してお土産コーナー等を作るにも個人だけでは難しく、行政の力が必要となってくる。お土産屋などを展開するにも民間だけでは力不足なのでもっと協力してもらいたい。</p>
委員	<p>行田市駅周辺の足袋蔵などを市民大学の教室として使いたい。そうすれば生徒が来て市内で食事をし、市の利益にもなり市内にお店を開く人も出てくるので活性化につながると思う。</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>行田市の CM を作ったが作って終わりになってしまわないか。 観光との連携は考えていないのか。</p> <p>市内の施設で流したりもしており、今後も機会があれば流していく。ホームページでもいろいろな方に見て頂けるようにして、PR もしていきたいと考えている。</p> <p>4 閉 会      ( 1 6 : 3 0 )</p>